



# Cisco Unity Connection

## ボイス メッセージにアクセスするための電子メール アカウントの設定

Cisco Unity Connection では、ライセンスを受けたユーザが、サードパーティの IMAP クライアントを使用して、デスクトップ マシンからボイス メッセージにアクセスできます。また、テキスト付きのボイス メッセージを転送したり、テキスト付きのボイス メッセージに返信したりすることもできます。メッセージのテキスト部分にアクセスするには、Connection のテキスト / スピーチ機能を使用します。

この章にある次の項を参照してください。

- [IMAP 電子メール クライアントを設定する場合の考慮事項 \(P.3-2\)](#)
- [Apple Mail でのアカウントの作成および設定 \(P.3-3\)](#)
- [Eudora でのアカウントの作成および設定 \(P.3-5\)](#)
- [IBM Lotus Notes でのアカウントの作成および設定 \(P.3-7\)](#)
- [Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定 \(P.3-9\)](#)
- [Microsoft Outlook Express でのアカウントの作成および設定 \(P.3-14\)](#)
- [Novell GroupWise でのアカウントの作成および設定 \(P.3-16\)](#)
- [Opera でのアカウントの作成および設定 \(P.3-18\)](#)
- [Thunderbird でのアカウントの作成および設定 \(P.3-20\)](#)
- [IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング \(P.3-21\)](#)



(注)

ユーザは、Cisco Unity Assistant で Cisco Personal Communications Assistant (PCA) のパスワードを変更した場合、そのパスワードを IMAP クライアント アプリケーションでも更新する必要があります。IMAP クライアントと Cisco PCA の間でパスワードは同期されません。両方のアプリケーションで Cisco PCA パスワードを更新しても、ユーザが IMAP クライアントでボイス メッセージを受信できない場合は、[P.3-21 の「IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング」](#)を参照してください。

## IMAP 電子メール クライアントを設定する場合の考慮事項

Connection ボイス メッセージにアクセスするように IMAP 電子メール クライアントを設定する場合は、次のことを考慮してください。

- Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] > [SMTP の設定 (SMTP Configuration)] > [サーバ (Server)] ページにある次の設定を、IMAP 電子メール クライアントで指定する SSL 設定と一致させます。
  - [信頼されていない IP アドレスからの接続を許可する (Allow Connections From Untrusted IP Addresses)]
  - [信頼されていない IP アドレスからの認証を要求する (Require Authentication From Untrusted IP Addresses)]
  - [信頼されていない IP アドレスからのトランスポート層セキュリティ (Transport Layer Security From Untrusted IP Addresses Is)]

これらの設定の詳細については、『*Cisco Unity Connection Administrator インターフェイス リファレンスガイド For Cisco Unity Connection*』の「システム設定」の章にある「SMTP サーバの設定」の項を参照してください。

- どの IMAP 電子メール クライアントにも、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力できる 2 つのフィールドがあります。クラスタ機能を設定する場合は、Connection のパブリッシャ サーバおよびサブスクライバ サーバが含まれる Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム) A レコードの完全修飾ドメイン名を入力します。DNS サーバを使用して、DNS による Connection サーバへの接続順序を指定できる場合は、アベイラビリティが最も高いサーバを、最初に接続するサーバとして指定します。通常、これはパブリッシャ サーバです。

DNS A レコードを無視する IMAP 電子メール クライアントもあります。そのようなクライアントは、最初の Connection サーバが使用できない場合、もう一方の Connection サーバへのアクセスを試みません。

## Apple Mail でのアカウントの作成および設定

Apple Mail を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Apple Mail アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### Apple Mail で新規アカウントを作成および設定する

**ステップ 1** Apple Mail を起動します。

**ステップ 2** Apple Mail の [Mail] メニューで、[Preferences] をクリックします。

**ステップ 3** [Preferences] ダイアログボックスの一番上にある [Accounts] をクリックします。

**ステップ 4** 左下隅にある [+] をクリックします。

**ステップ 5** [Account Type] リストで、[IMAP] をクリックします。

**ステップ 6** [Description] フィールドに、アカウントの名前を入力します。この名前は Apple Mail だけに表示されます。

**ステップ 7** [E-Mail Address] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

**ステップ 8** [Full Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

**ステップ 9** [Incoming Mail Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

**ステップ 10** [User Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。

**ステップ 11** [Password] フィールドに、Cisco PCA パスワードを入力します。

**ステップ 12** [Outgoing Mail Server (SMTP)] フィールドで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名をクリックします。

**ステップ 13** [Server Settings] をクリックします。

**ステップ 14** オプションで、[SMTP Server Options] ダイアログボックスの [Use Secure Sockets Layer (SSL)] チェックボックスをオンにします。

**注意**

SSL を使用するように Apple Mail を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

**ステップ 15** [Authentication] リストで、[Password] をクリックします。

**ステップ 16** [OK] をクリックして、[SMTP Options] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 17** [Advanced] タブをクリックします。

**ステップ 18** [Keep Copies of Messages for Offline Viewing] リストで、適切なオプションを選択します。

**ステップ 19** [Preferences] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 20** [Save Changes] ダイアログボックスで、[Save] をクリックします。

---

## Eudora でのアカウントの作成および設定

Eudora を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Eudora アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### Eudora で新規アカウントを作成および設定する

- 
- ステップ 1** Eudora を起動します。
- ステップ 2** Eudora の [Tools] メニューで、[Personalities] をクリックします。
- ステップ 3** [Personalities] タブの任意の位置で右クリックし、[New] をクリックします。
- ステップ 4** New Account ウィザードの [Account Settings] ページで、[Next] をクリックしてデフォルト値の [Create a Brand New E-Mail Account] をそのまま使用します。
- ステップ 5** [Personality Name] ページで、アカウントの表示名を入力します。ここに入力する値は、Eudora だけに表示されます。
- ステップ 6** [Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Personal Information] ページで、ユーザ名を入力します。
- ステップ 8** [Next] をクリックします。
- ステップ 9** [E-Mail Address] ページで、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>
- ステップ 10** [Next] をクリックします。
- ステップ 11** [User Name] ページで、Connection ユーザ名を入力します。この値は、Connection エイリアスと同じ場合も、そうでない場合もあります。
- ステップ 12** [Next] をクリックします。
- ステップ 13** [Incoming E-Mail Server] ページで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 14** サーバのタイプについては、[IMAP] をクリックします。

**ステップ 15** [Next] をクリックします。

**ステップ 16** [IMAP Location Prefix] ページでは、値を入力しないでください。

**ステップ 17** [Next] をクリックします。

**ステップ 18** [Outgoing E-Mail Server] ページで、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**ステップ 19** [Next] をクリックします。

**ステップ 20** [Success] ページで、[Finish] をクリックします。アカウントが作成され、ウィザードが終了します。

**ステップ 21** [Enter Password] ダイアログボックスに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力します。

**ステップ 22** [OK] をクリックします。

**ステップ 23** オプションで、新規アカウントが SSL を使用するように設定します。詳細については、Eudora のヘルプを参照してください。

**注意**

SSL を使用するように Eudora を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイスメッセージは暗号化されません。

## IBM Lotus Notes でのアカウントの作成および設定

Notes を使用して Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Notes アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### IBM Lotus Notes で新規アカウントを作成および設定する

- ステップ 1** IBM Lotus Notes を起動します。
- ステップ 2** Notes の [File] メニューで、[Preferences] > [Client Reconfiguration Wizard] をクリックします。
- ステップ 3** Lotus Notes Client Configuration ウィザードの [Additional Services] ページで、[Internet Mail Servers (POP or IMAP, SMTP)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- ステップ 5** [Set Up Internet Mail] ページの [Select the Type of Server Used for Retrieving Incoming Mail] リストで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 6** [Enter a New Account Name] リストで、[Incoming Internet Mail] をクリックします。
- ステップ 7** [Incoming Mail Server] フィールドに、Cisco Unity Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 8** [Next] をクリックします。
- ステップ 9** [Set Up Internet Mail] ページの [Account Name] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名>

- ステップ 10** [Password] フィールドに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力し、確認のためもう一度入力します。
- ステップ 11** Notes と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[Log On Using SSL] チェックボックスをオンにします。暗号化しない場合は、[ステップ 12](#)に進みます。

**注意**

SSL を使用するように Notes を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

**ステップ 12** [Next] をクリックします。

**ステップ 13** 2 番目の [Set Up Internet Mail] ページの [Enter a New Account Name] リストで、[Outgoing Internet Mail] をクリックします。

**ステップ 14** [Outgoing SMTP Mail Server] リストに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**ステップ 15** [Next] をクリックします。

**ステップ 16** 3 番目の [Set Up Internet Mail] ページの [E-Mail Address] フィールドに、ユーザの Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

**ステップ 17** [Internet Domain] フィールドに、Domino メール サーバのインターネット ドメイン名を入力します。

**ステップ 18** [Next] をクリックします。

**ステップ 19** [OK] をクリックします。

---



## Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定

Outlook を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Outlook アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

Connection ボイス メッセージにアクセスするように Outlook を設定する作業に加えて、オプションの Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook プラグインをインストールすることもできます。P.3-11 の「Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook の設定」を参照してください。

### Outlook で新規アカウントを作成および設定する

**ステップ 1** Outlook を起動します。

**ステップ 2** Outlook の [Tools] メニューで、[E-Mail Accounts] をクリックします。

**ステップ 3** E-Mail Accounts ウィザードで、[Add a New E-Mail Account] をクリックします。

**ステップ 4** [Next] をクリックします。

**ステップ 5** [Server Type] ページで、[IMAP] をクリックします。

**ステップ 6** [Next] をクリックします。

**ステップ 7** [User Information] セクションで、次の値を入力します。

- [Your Name] フィールドに、アカウントの表示名を入力します。ここに入力する値は、Outlook だけに表示されます。
- [E-Mail Address] フィールドに、次のいずれかを入力します。
  - ユーザの Connection エイリアスと Connection SMTP ドメインの名前。次の形式で入力します。  
<エイリアス>@<Connection サーバまたはクラスタの SMTP ドメイン名>
  - ユーザのプロキシアドレス。

**ステップ 8** [Server Information] セクションで、次の値を入力します。

- [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



**注意** ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**ステップ 9** [Logon Information] セクションで、次の値を入力します。

- a. [User Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。
- b. [Password] フィールドに、ユーザの Cisco PCA パスワードを入力します。
- c. [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、またはロックされているときは、Microsoft Outlook はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信しません。

**ステップ 10** Outlook と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 15](#)に進みます。

**注意**

SSL を使用するように Outlook を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

Outlook と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 11](#)に進みます。

**ステップ 11** [More Settings] をクリックします。

**ステップ 12** [Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスで、[Advanced] タブをクリックします。

**ステップ 13** [Incoming Server (IMAP)] で、[This Server Requires an Encrypted Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 14** [OK] をクリックして、[Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 15** Connection SMTP サーバが、信頼されていない IP アドレスからの接続を許可するように設定されている場合は、[ステップ 21](#)に進みます。

Connection SMTP サーバが、信頼されていない IP アドレスからの認証を要求するように設定されている場合は、[ステップ 16](#)に進みます。

**ステップ 16** [More Settings] をクリックします。

**ステップ 17** [Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスで、[Outgoing Server] タブをクリックします。

**ステップ 18** [My Outgoing Server (SMTP) Requires Authentication] チェックボックスがオンになっていることを確認します。

**ステップ 19** [Use Same Settings as My Incoming Mail] オプション ボタンが選択されていることを確認します。

**ステップ 20** [OK] をクリックして、[Internet E-Mail Settings] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 21** [Next] をクリックします。

**ステップ 22** [Finish] をクリックします。

**ステップ 23** Outlook の左ペインで、新規アカウントの [Inbox] フォルダをクリックします。

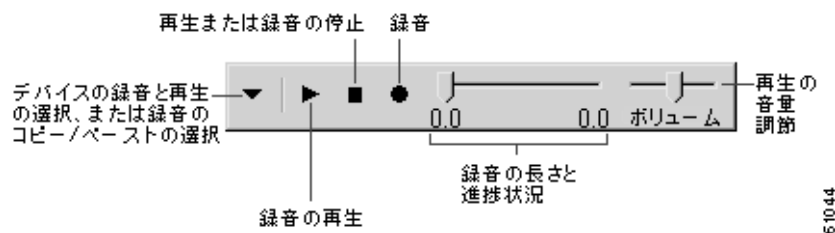
**ステップ 24** Outlook の [Tools] メニューで、[Send/Receive] > [This Folder] をクリックします。

**ステップ 25** 指示に従って、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを入力します。

## Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook の設定

Cisco Unity Connection ボイス メッセージへのアクセスに ViewMail for Outlook を使用することにより、ユーザは Media Master を使用してボイス メッセージを再生および録音することができます。図 3-1 を参照してください。

図 3-1 Media Master



## Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を設定するためのタスク リスト

ViewMail は、各ユーザ ワークステーションにインストールする必要があります。ユーザに対して ViewMail を設定するには、次の作業を実行します。

1. 該当する『Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook リリースノート』を確認します。これは、[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html) から入手可能です。このマニュアルには、ViewMail のインストールに関する要件と手順が指定されています。
2. 『Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook リリースノート』の手順に従って ViewMail をインストールします。
3. Microsoft Outlook で IMAP アカウントを設定します (未設定の場合)。P.3-9 の「Microsoft Outlook でのアカウントの作成および設定」を参照してください。
4. ユーザに複数の IMAP アカウントが設定されている場合は、Connection へのアクセス用の IMAP アカウントを使用するように ViewMail を設定する必要があります。P.3-12 の「ViewMail に関する IMAP アカウントの設定」を参照してください。
5. セキュア メッセージングまたは TRAP を使用する場合は、必要な ViewMail 設定がいくつかあります。P.3-12 の「セキュア メッセージングと TRAP に関する ViewMail 設定」を参照してください。

## ViewMail に関する IMAP アカウントの設定

ユーザに複数の IMAP アカウントが設定されている場合は、Connection へのアクセス用の IMAP アカウントを使用するように ViewMail を設定する必要があります。

各ユーザ ワークステーションで、次の手順を実行します。

### ViewMail を設定する

- 
- ステップ 1** Outlook の [Tools] メニューで、[ViewMail Options] をクリックします。
  - ステップ 2** [Accounts] タブをクリックします。
  - ステップ 3** [Select the Account to Access Cisco Unity Connection With] フィールドで、Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択します。
  - ステップ 4** [Save] をクリックします。
- 

## セキュア メッセージングと TRAP に関する ViewMail 設定

セキュア メッセージングを使用するように Connection を設定している場合や、Telephone Record and Playback (TRAP; 電話での録音と再生) を使用してユーザが電話でメッセージの録音と再生を行えるようにする場合は、必要な ViewMail 設定がいくつかあります。

ViewMail をインストールした後に、各ユーザ ワークステーションで、次の手順を実行します。

### ViewMail のセキュア メッセージと TRAP を設定する

- 
- ステップ 1** Outlook の [Tools] メニューで、[ViewMail Options] をクリックします。
  - ステップ 2** [Server] タブをクリックします。
  - ステップ 3** 次の設定を入力します。

表 3-1 サーバの設定

フィールド	設定
[Cisco Unity Connection Server Name]	Connection サーバの名前を入力します (セキュア メッセージングと TRAP では必須です)。
[Username]	ユーザの Connection ユーザ名を入力します。
[Password]	(オプション) ユーザの Cisco PCA パスワードを入力します。パスワードを入力しないと、Outlook を再起動するたびにユーザはパスワードの入力を要求されます。Outlook を再起動するたびにユーザがパスワードの入力を要求されないようにする場合は、[Remember Password] チェックボックスもオンにする必要があります。
[Remember Password]	(オプション) ユーザ パスワードを ViewMail に保存しておき、Outlook を再起動するたびにユーザがパスワードを再入力する必要がないようにする場合は、このチェックボックスをオンにします。

表 3-1 サーバの設定 (続き)

フィールド	設定
[Proxy Server Address]	ユーザワークステーションと Connection サーバ間の HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールが構成されている場合、HTTPS プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
[Proxy Server Port]	ユーザワークステーションと Connection サーバ間の HTTPS トラフィックをブロックするファイアウォールが構成されている場合、HTTPS プロキシサーバへの接続時に使用するサーバポートを入力します。
[Validate HTTPS Certificate]	<p>デフォルトの自己署名証明書を認証局の証明書に置き換える場合、[Validate HTTPS Certificate] チェックボックスをオンにします。</p> <p>Connection とともにインストールされたデフォルトの証明書を使用している場合、このチェックボックスはオンにしないでください。</p> <p>詳細については、『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「Cisco PCA および IMAP 電子メールクライアントから Cisco Unity Connection へのアクセスの保護」の章を参照してください。</p>
[Extension]	<p>ユーザの内線番号を入力します。</p> <p>ユーザが電話でメッセージを録音または再生できるようにする場合のみ、この設定が必須です。</p>

**ステップ 4** [Save] をクリックします。

## Microsoft Outlook Express でのアカウントの作成および設定

Outlook Express を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Outlook Express アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### Outlook Express で新規アカウントを作成および設定する

- 
- ステップ 1** Outlook Express を起動します。
- ステップ 2** Outlook Express の [Tools] メニューで、[Accounts] をクリックします。
- ステップ 3** [Internet Accounts] ダイアログボックスで、[Mail] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Add] > [Mail] をクリックします。Internet Connection ウィザードが表示されます。
- ステップ 5** [Your Name] ページの [Display Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。
- ステップ 6** [Next] をクリックします。
- ステップ 7** [Internet E-Mail Address] ページで、[I Already Have an E-Mail Address That I'd Like to Use] をクリックします。
- ステップ 8** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>
- ステップ 9** [Next] をクリックします。
- ステップ 10** [E-Mail Server Names] ページの [My Incoming Mail Server Is a <プロトコル> Server] リストで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 11** [Incoming Mail (POP3, IMAP, or HTTP) Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

- ステップ 12** [Outgoing Mail (SMTP) Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。
- ステップ 13** [Next] をクリックします。

**ステップ 14** [Internet Mail Logon] ページの [Account Name] フィールドと [Password] フィールドに、Connection ユーザ名と Cisco PCA パスワードを入力します。ユーザ名は、エイリアスと同じ場合も、そうでない場合もあります。

**ステップ 15** [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。

このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、またはロックされているときは、Microsoft Outlook Express はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信しません。

**ステップ 16** [Next] をクリックします。

**ステップ 17** [Congratulations] ページで、[Finish] をクリックします。

**ステップ 18** [Internet Accounts] ダイアログボックスで、[ステップ 4](#) で作成したアカウントをクリックし、[Properties] をクリックします。

**ステップ 19** [<アカウント名> Properties] ダイアログボックスで、[IMAP] タブをクリックします。

**ステップ 20** [Store Special Folders] チェックボックスをオフにします。

**ステップ 21** [Root Folder Path] フィールドに、**INBOX** と入力します (すべて大文字で)。

**ステップ 22** Outlook Express と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 25](#) に進みます。

**注意**

SSLを使用するように Outlook Express を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

Outlook Express と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 23](#) に進みます。

**ステップ 23** [Advanced] タブをクリックします。

**ステップ 24** [Incoming Mail] で、[This Server Requires a Secure Connection (SSL)] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 25** [OK] をクリックして、 [<アカウント名> Properties] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 26** [Close] をクリックして、 [Internet Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

## Novell GroupWise でのアカウントの作成および設定

GroupWise を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい GroupWise アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Cisco Personal Communications Assistant (PCA) パスワード (管理者の場合、これは Cisco Unity Connection の管理のユーザ ページで設定される Web アプリケーションパスワードです)
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### GroupWise で新規アカウントを作成および設定する

**ステップ 1** GroupWise を起動します。

**ステップ 2** GroupWise の [Tools] メニューで、[Accounts] > [Account Options] をクリックします。

**ステップ 3** [Accounts] ダイアログボックスで、[Add] をクリックします。

**ステップ 4** [Create Account] ダイアログボックスの [Account Name] フィールドに、アカウントの名前を入力します。この名前は GroupWise だけに表示されます。

**ステップ 5** [Account Type] リストで、[IMAP4] をクリックします。

**ステップ 6** [Next] をクリックします。

**ステップ 7** [Create Internet Account] ダイアログボックスの [Incoming Mail Server (IMAP4)] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。



**注意** ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

**ステップ 8** [Login Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。

**ステップ 9** [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**ステップ 10** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

**ステップ 11** [From Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

この値は、GroupWise によって、ユーザが送信するメッセージの [From] フィールドに入力されます。

**ステップ 12** [Next] をクリックします。

**ステップ 13** 画面の指示に従って、設定を完了します。



**ステップ 14** GroupWise と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、[ステップ 20](#)に進みます。

**注意**

SSL を使用するように GroupWise を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザー名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

GroupWise と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 15](#)に進みます。

**ステップ 15** [Accounts] ダイアログボックスで、作成したアカウントの名前をクリックします。

**ステップ 16** [Properties] をクリックします。

**ステップ 17** [Advanced] タブをクリックします。

**ステップ 18** [Incoming Mail Server (IMAP4)] で、[Use SSL] チェックボックスをオンにします。

**ステップ 19** [OK] をクリックして、[<アカウント名> Properties] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 20** [Close] をクリックして、[Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 21** 新規アカウントの inbox を作成し、Connection ボイス メッセージをダウンロードします。

- a. GroupWise の左ペインで、新規アカウントの名前をクリックします。
- b. [Logon to <アカウント名>] ダイアログボックスに、ユーザの PCA パスワードを入力します。
- c. [Remember Password] チェックボックスがオフになっていることを確認します。  
このオプションがオンの場合、ユーザの Connection パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、またはロックされているときは、GroupWise はユーザに Connection パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信しません。
- d. [OK] をクリックして、[Logon to <アカウント名>] ダイアログボックスを閉じます。
- e. 左ペインで新規アカウントの名前がまだ選択されている状態で、GroupWise の [Tools] メニューから [Send/Receive] > [This Folder] をクリックします。

## Opera でのアカウントの作成および設定

Opera を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Opera アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### Opera で新規アカウントを作成および設定する

- 
- ステップ 1** Opera を起動します。
- ステップ 2** Opera の [Tools] メニューで、[Mail and Chat Accounts] をクリックします。
- ステップ 3** [Manage Accounts] ダイアログボックスで、[New] をクリックします。
- ステップ 4** New Account ウィザードで、[IMAP] をクリックします。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** [Real Name] フィールドに、アカウント名を入力します。
- ステップ 7** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。
- <エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>
- ステップ 8** [Organization] フィールドに、適切な値を入力します。
- ステップ 9** [Next] をクリックします。
- ステップ 10** [Login Name] フィールドに、Connection ユーザ名を入力します。
- ステップ 11** [Password] フィールドに、Cisco PCA パスワードを入力します。
- ステップ 12** [Next] をクリックします。
- ステップ 13** [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

**ステップ 14** Opera と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[Use Secure Connection (TLS)] チェックボックスをオンにします (TLS は SSL の更新バージョンです)。

**注意**

SSL を使用するように Opera を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザー名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

**ステップ 15** [Outgoing Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**ステップ 16** [Finish] をクリックします。

**ステップ 17** [OK] をクリックして、[Subscribe IMAP Folders] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 18** [OK] をクリックして、[Manage Accounts] ダイアログボックスを閉じます。

## Thunderbird でのアカウントの作成および設定

Thunderbird を使用して Cisco Unity Connection ボイス メッセージにアクセスするには、ユーザの新しい Thunderbird アカウントを作成および設定します。次の情報が必要になります。

- Connection エイリアス
- Connection ユーザ名
- Connection サーバの IP アドレスまたは (DNS が設定されている場合は) 完全修飾ドメイン名

### Thunderbird で新規アカウントを作成および設定する

**ステップ 1** Thunderbird を起動します。

**ステップ 2** Thunderbird の [File] メニューで、[New] > [Account] をクリックします。

**ステップ 3** Account ウィザードの [New Account Setup] ページで、[E-Mail Account] をクリックします。

**ステップ 4** [Next] をクリックします。

**ステップ 5** [Identity] ページの [Your Name] フィールドに、ユーザ名を入力します。

**ステップ 6** [E-Mail Address] フィールドに、Connection エイリアスと Connection サーバの名前を入力します。次の形式で入力します。

<エイリアス>@<Connection サーバの完全修飾ドメイン名>

**ステップ 7** [Next] をクリックします。

**ステップ 8** [Server Information] ページで、[Select the Type of Incoming Server You Are Using] の下にある [IMAP] をクリックします。

**ステップ 9** [Incoming Server] フィールドに、Connection サーバの IP アドレスまたは完全修飾ドメイン名を入力します。

**注意**

ネットワークに DNS が設定されていない場合は、Connection サーバの完全修飾ドメイン名を使用しないでください。

**ステップ 10** [Next] をクリックします。

**ステップ 11** [User Names] ページで、Connection ユーザ名を入力します。

**ステップ 12** [Next] をクリックします。

**ステップ 13** [Account Name] ページで、アカウントの名前を入力します。この名前は Thunderbird だけに表示されます。

**ステップ 14** [Next] をクリックします。

**ステップ 15** [Congratulations] ページで、設定が正しいことを確認して、[Finish] をクリックします。

**ステップ 16** Thunderbird と Connection の間でネットワークを介して送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化しない場合は、これで新規アカウントの作成と設定は終了です。

Thunderbird と Connection の間で送信されるボイス メッセージや他のデータを暗号化する場合は、[ステップ 17](#)に進みます。

**ステップ 17** Thunderbird の左ペインで、作成したアカウントの名前をクリックします。

**ステップ 18** Thunderbird の右ペインで、[Accounts] の下にある [**View Settings for This Account**] をクリックします。

**ステップ 19** [Account Settings] ダイアログボックスで、作成したアカウントの下にある [**Server Settings**] をクリックします。

**ステップ 20** [Server Settings] の下にある [**Use Secure Connection (SSL)**] チェックボックスをオンにします。

**注意**

SSL を使用するように Thunderbird を設定しない場合、ネットワーク経由で Connection に送信される Connection ユーザ名とパスワード、および Connection から送信されるボイス メッセージは暗号化されません。

**ステップ 21** [OK] をクリックして、[Account Settings] ダイアログボックスを閉じます。

## IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング

ユーザは、Cisco Unity Assistant で Cisco PCA パスワードを変更した場合は、パスワードを IMAP クライアント アプリケーションでも更新する必要があります。IMAP 側のパスワードも変更することで、引き続きクライアントが Connection にアクセスし、ボイス メッセージを取得することができます。

ユーザが IMAP クライアントでボイス メッセージを受信できない場合は、次の可能性を考慮してください。

- ユーザが入力した IMAP Cisco PCA パスワードが IMAP クライアント アプリケーションで拒否された場合、Cisco PCA パスワードが期限切れになっている、変更されている、またはロックされている可能性があります。その場合、ユーザは、まず Cisco Unity Assistant でパスワードを変更し、次に、IMAP クライアント アプリケーションでパスワードを更新する必要があります。
- Microsoft Outlook ユーザが Cisco PCA パスワードの入力を要求されない場合は、[Internet E-mail Settings (IMAP)] ページの [Remember Password] チェックボックスがオフになっているかどうかを確認します。このオプションがオンの場合、ユーザのパスワードが期限切れになっているか、変更されているか、またはロックされているときは、Microsoft Outlook はユーザに Cisco PCA パスワードの入力を要求しません。その結果、ユーザは Connection からボイス メッセージを受信せず、Outlook はユーザ名とパスワードを要求します。

■ IMAP クライアントのログオンに関する問題のトラブルシューティング